

【ニューヨーク=宮本岳則】テクノロジー株に選別投資する米運用会社アーク・インベストメント・マネジメントは6日、米南部フロリダ州に本社を移転すると発表した。ニューヨーク市内のオフィスは10月末で閉鎖する。起業家やスタートアップ企業を支援する施設も建設する。アーク創業者で著名投資家のキャシー・ウッド氏は声明で「さらに型破りな運用会社になる」と述べた。

新本社はフロリダ州セントピーターズバーグ市に置く。本社移転に合わせて「アーク・イノベーション・センター」を建設する。土地は地元自治体が拠出し、2023年7月の開所を目指す。アークは施設を通じて同エリアで活動する起業家や大学、インキュベーターたちとの交流を深めるとしている。従業員の大半はフロリダに移るが、在宅勤務にも対応する。

14年創業のアークは、テック株に集中投資する上場投資信託(ETF)で個人投資家の人気を集め、運用資産残高を急激に伸ばした。最高投資責任者のウッド氏は電気自動車(EV)メーカーのテスラや暗号資産(仮想通貨)関連株に強気のスタンスを貫き、動画サイト「ユーチューブ」を通じて投資アイデアを公開するなど、独自の運用スタイルで注目を集めてきた。

フロリダ州では金融会社によるオフィス新設が相次ぐ。ブラックストーンはテクノロジー部門の拠点を設置したほか、エリオット・マネジメントは本社をニューヨークから移転した。フロリダ州の所得税率はゼロで、ニューヨーク州など税率の高い地域から高所得者層をひき付けている。